

◆ 今週のコメント

- ・ **デング熱**の報告が1例(男性, 20歳代)あります。推定感染地域は国外(マレーシア)です。本年の累積報告数は3例となっています。京都市においては、平成15年以降、毎年デング熱の報告があり、最近では、平成21年2例, 平成22年4例, 平成23年3例, 平成24年7例, 平成25年11例の報告があります。デング熱は、熱帯、亜熱帯地方に位置するアジア、アフリカ、中南米などの国々で発生・流行しているウイルス感染症です。流行地にでかける際は、長袖長ズボンを着用したり、忌避剤を使用するなど蚊に刺されないようにすることが必要です。
- ・ **咽頭結膜熱**の定点当たり報告数は0.59(24例)で、過去5年平均値を大きく上回る状態が続いています。例年、6月頃から徐々に増加しはじめ、7～8月に流行のピークを迎えますが、昨年は12月頃にも大きな流行がありました。プールの時期に入り、さらに増加する可能性がありますので、今後の動向にご注意ください。

◆ 今週のトピックス: <ヘルパンギーナ>

ヘルパンギーナの定点当たり報告数は2.98(122例)で、前週 2.24(92例)に比べ約1.3倍になっています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ **二類: 結核** 10例(肺結核 7例, その他結核 2例, 潜在性結核感染者 1例)うち喀痰塗抹陽性 5例
【1月以降の累積報告数 211例(肺結核 104例, その他結核 53例, 潜在性結核感染者 54例)うち喀痰塗抹陽性 50例】
- ・ **四類: デング熱** 1例【1月以降の累積報告数 3例】
- ・ **四類: レジオネラ症(肺炎型)** 1例【1月以降の累積報告数 8例】
- ・ **五類: アメーバ赤痢(腸管アメーバ症)** 1例【1月以降の累積報告数 9例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

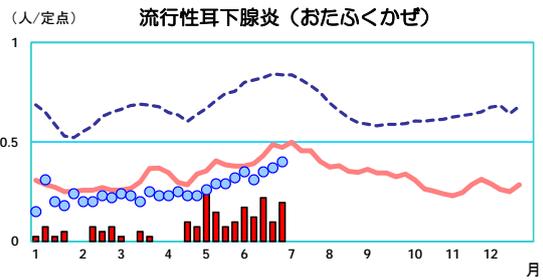
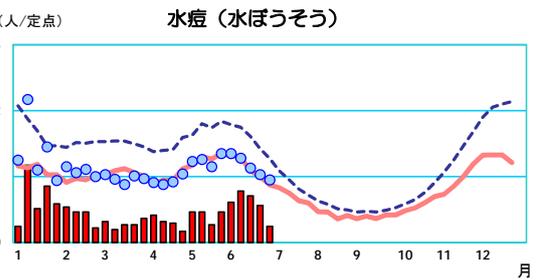
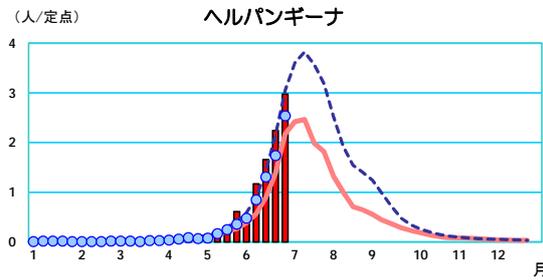
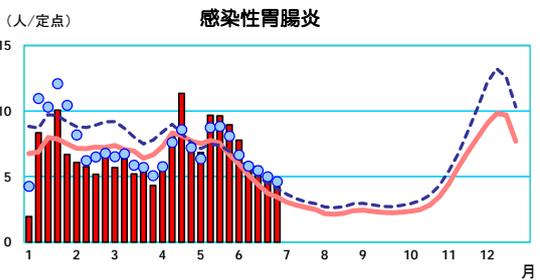
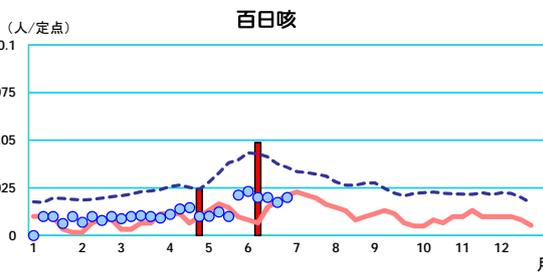
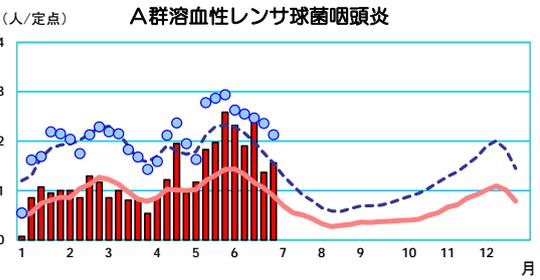
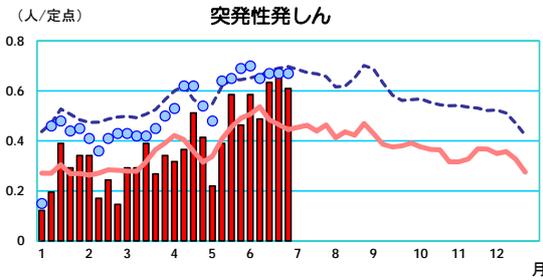
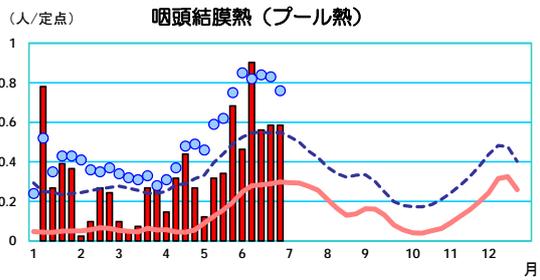
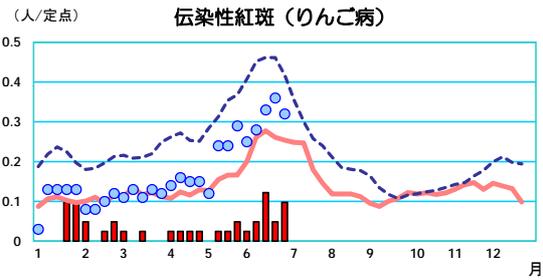
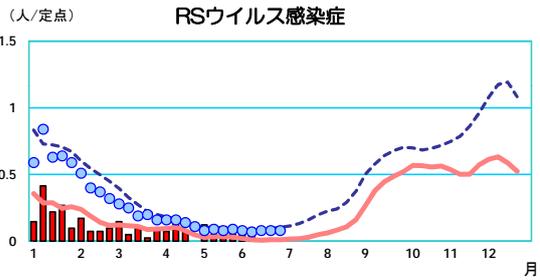
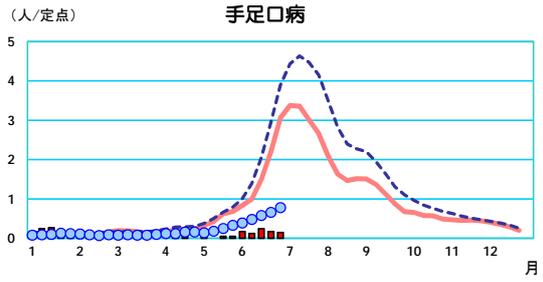
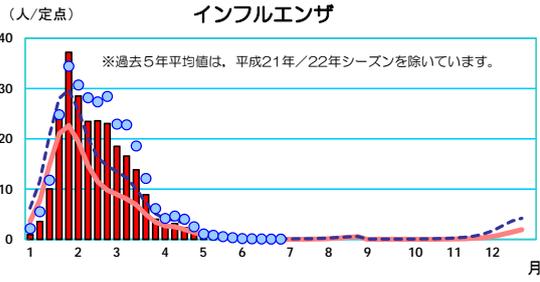
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ ^a	インフルエンザ	0.01	1
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	4.17	171
	② ヘルパンギーナ	2.98	122
	③ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.56	64
	④ 突発性発しん	0.61	25
	⑤ 咽頭結膜熱	0.59	24
眼科	流行性角結膜炎	1.90	19

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <ヘルパンギーナ>

(注) 京都市のデータは、平成26年7月10日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成26年）



第27週(6月30日～7月6日)トピックス: <ヘルパンギーナ>

ヘルパンギーナの定点当たり報告数は2.98(122例)で、前週 2.24(92例)に比べ約1.3倍になっています。第20週(5月12日～5月18日)以降、過去5年平均値を継続的に上回っています。

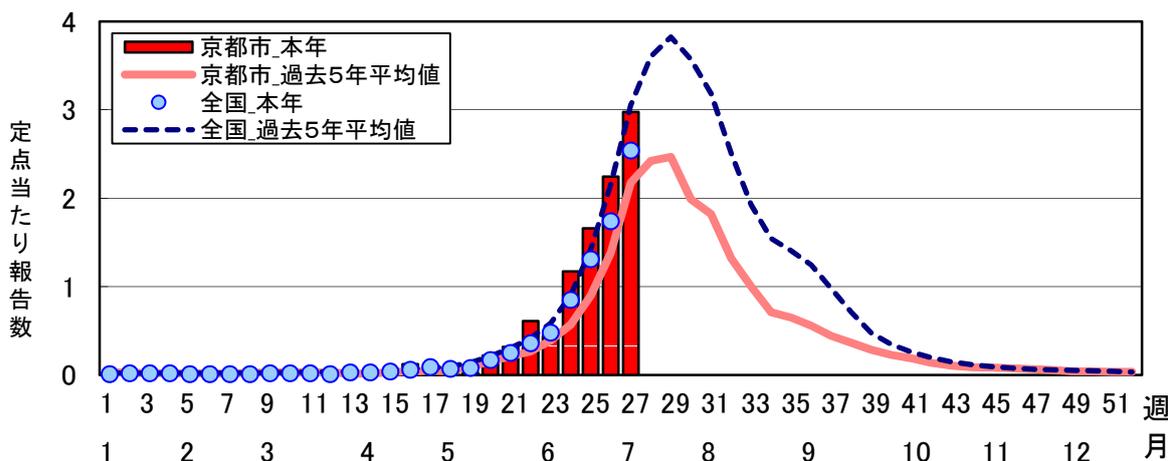
都道府県別では、47都道府県中39都府県で前週より増加しています。また、鳥取県(7.16)においては、警報開始基準値(*)「6」を3週連続で超えています。

ヘルパンギーナは、発熱と口腔粘膜にあらわれる水疱性発疹を特徴とし、夏期に流行する小児の急性ウイルス性咽頭炎で、夏かぜの代表的疾患です。毎年5月頃より増加し始め、6～7月にかけてピークを形成し、8月に減少、9～10月にかけてほとんど見られなくなります。2～4日の潜伏期を経過し、突然の発熱に続いて咽頭粘膜の発赤が顕著となり、小水疱が出現します。発熱については2～4日間程度で解熱し、やや遅れて粘膜疹も消失します。ほとんどは予後良好ですが、まれに無菌性髄膜炎、急性心筋炎などを合併することがあります。

予防法としては、感染者との密接な接触を避けることや、流行時にうがい、手指の消毒を励行することなどがあります。

(*)警報とは、大きな流行が発生または継続しつつあることが疑われることを意味し、国立感染症研究所が警報開始基準値を定めています。

本市及び全国の定点当たり報告数の推移



都道府県別定点当たり報告数の推移

